

4季連続21回目の 主砲 福元が中日ドラゴンズへ



関西六大学野球春季リーグ戦

4月3日～5月19日 ほっともっとフィールド神戸

全勝優勝

関西六大学野球春季リーグ戦

硬式野球部

令和3年度春季リーグ戦、大商大硬式野球部新チームにとって初めての公式戦、神戸学院大学との開幕戦は5対0完封勝利でスタートした。初戦を勝利で飾った。

大商大野球部は勢いそのままに2戦3戦と勝利を重ねていった。第4節大阪経済大学との2戦目で9回無死二塁から2ランホームランを打たれ、1点差まで詰め寄られるも4対3で逃げきった。

その後も順調に勝利を重ねていき、無敗で迎えた京都産業大学との最終戦、2対0で完封勝利し、4季連続21回目の優勝を成し遂げた。

福元悠真(商4・智辯学園)は、リーグ戦では一人ひとりが試合での役割をこなし、先を見ず、一戦一戦常に準備をしていた結果が今回の優勝に繋がりましたと振り返った。

ドラフト会議 中日ドラゴンズ 6位指名



福元悠真

10月、2021プロ野球ドラフト会議にて、大商大硬式野球部商学科4年の福元が中日ドラゴンズから6位指名された。

「本学のリアクトに、多くの記者の注目を浴びながら名前を呼ばれた福元は自身の注目ポイントについて、「大事な場面での打撃の勝負強さ」とアピール。飛距離を出すコツを聞く

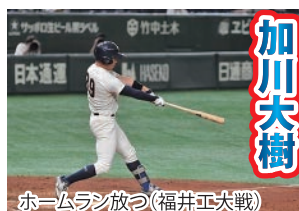
「二日でも早く1軍の試合に出場し、1軍の投手全員と戦ってみたい。その為に日々コツコツと練習し、必要とされるものを求めている」と今後の意気込みを語った。

文ノ堀入翔太(経営2・玉野光南)

全日本大学野球 初戦突破も進撃止まる

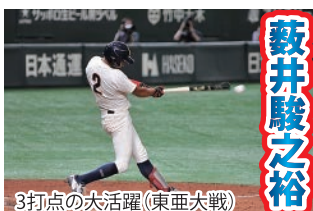


春季リーグ戦を勝ち抜いたことにより、第70回全日本大学野球選手権記念大会への出場を決めた。全日本大学野球選手権大会は全国26連盟の春季リーグ戦等を勝ち抜いた27の代表校が神宮球場と東京ドームを舞台に大学野球日本一を争う大会。1試合目対東亜大学戦、大商大は序盤のリードを守り切って勝利した。



加川大樹

ホームラン放つ(福井工大戦)



萩井駿之裕

3打点の大活躍(東亜大戦)

た福井工大の投手の球にタイミングが合わず、1対4で敗れた。

秋季リーグ戦は悔しい準優勝 5季連続Vに一步及ばず

5季連続22回目の優勝をかけて挑んだ令和3年度秋季リーグ戦、順調に勝ち進んでいた大商大野球部だが第5節龍谷大学との2戦、1試合目の4回に大量失点を

許してしまい3対10で敗北し、続く2試合目も8回に福元が2ランホームランを放つなどして5得点を挙げるも、9回表に満塁ホームランを浴び6対9で連敗。優勝を

あと一步で逃してしまった。福元は「個人としてもチームとしても内容と結果が良くなかった。いい経験になったので次のステップへ活かしたい」と振り返った。

「関西六大学野球春季リーグ戦」

優勝(10勝0敗)	福元 悠真(商4・智辯学園)
(4季連続、21回目(旧リーグ含む))	
最優秀選手賞	修行 恵大(経営3・大垣日本大学)
首位打者賞	伊原 陵人(商3・智辯学園)
ベストナイン(投手)	碓井 雅也(商3・天理)
ベストナイン(捕手)	修行 恵大(経営3・大垣日本大学)
ベストナイン(一塁手)	植本 亮太(公共3・明石商業)
ベストナイン(三塁手)	家田 陸翔(公共3・近江)
ベストナイン(遊撃手)	大谷 駿斗(経済4・立正大学浜南)
ベストナイン(外野手)	渡部 聖弥(商1・広陵)
ベストナイン(外野手)	福元 悠真(商4・智辯学園)
担当記者クラブ賞	伊原 陵人(商3・智辯学園)
特別賞	修行 恵大(経営3・大垣日本大学)
平古場賞(新人賞)	上田 大河(公共2・大商大)
平古場賞(新人賞)	渡部 聖弥(商1・広陵)

「関西六大学野球春季新入戦」

4位	
「第70回全日本大学野球選手権記念大会」	
2回戦敗退	

「関西六大学野球秋季リーグ戦」

準優勝(8勝2敗勝率8割)	
首位打者賞	碓井 雅也(商3・天理)
ベストナイン(捕手)	碓井 雅也(商3・天理)

第25号

1面

硬式野球部

2面

日本拳法部
空手道部
ボクシング部
他

3面

サッカー部
卓球部
ボウリング部
他

4面

ウェイトリフティング部
準硬式野球部
他

関西推薦枠獲得



池田

全日本大学総合選手権出場

卓球部

第90回関西学生選手権大会兼第87回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 関西予選に、池田光太郎(経済4・木更津総合)が出場した。池田は「組み合わせを見たときにチャンスがあるなと思った。緊張していなかったのでもいいパフォーマンスができる」と試合前に語ったとお

り、初戦を3対0で
圧勝し、その勢い
のまま難なく5回戦
まで勝ち進んだ。

6戦目の立命館大
学山本選手に0対4
で敗北したが、ベ
スト16の成績を収め、
第87回全日本大学総

合卓球選手権大会（個人の部）に関西推薦枠で出場した。

その初戦、新潟大学永目選手との試合で1ゲーム目は勝利したが、残りの3ゲームを落とし、1回戦で姿を消すことになった。池田は「これから先も卓球を続けていく」と語った。卓球部としてもリーグ戦で1部昇格という目標に期待したい。

文／片山想愛（商1・京都すばる）

「第63回関西学生卓球新人大会」 男子シングルス

- 5回戦敗退 新井 統也(公共3・近畿大学附属広島高等学校(山校))
- 5回戦敗退 北川 大地(公共3・興國)
- 4回戦敗退 大迫 辰寿(経済3・浪速)
- 3回戦敗退 鈴木 仁(経済3・奈良朱雀)
- 3回戦敗退 堀田 拓夢(経済2・育英)
- 3回戦敗退 岩本 久典(商4・和歌山商業)
- 3回戦敗退 宮川 支温(商2・報徳学園)
- 3回戦敗退 渡邊 拓己(商2・添上)
- 3回戦敗退 内藤 拓己(公共4・伊予農業)

「第88回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)」
1回戦敗退 池田 光太郎(経済4・木更津総合)

「第90回関西学生卓球選手権大会(ダブルスの部)」

4回戦敗退 大迫 辰弥(経済3・浪速)
神谷 晃輝(経済2・滝川(第2))

3回戦敗退 池田 光太郎(経済4・木更津総合)
波賀 周作(経営2・四国学院大学香川西)

3回戦敗退 山畑 光樹(経済3・志恵)
新井 統也(公共3・近畿大学附属広島高等学校福山校)

3回戦敗退 鈴木 天人(経済3・奈良朱雀)
宮本 将希(公共2・名張青峰)

3回戦敗退 渡邊 拓己(商2・添上)
木下 仁志(経済1・太子)

3回戦敗退 川森 健寛(経済1・近江兄弟社)
角谷 裕太(経済1・近江兄弟社)

「第54回会長杯争奪卓球大会(団体の部)」

「第7回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部)」

令和3年8月24日から第57回全日本カヌースプリント選手権大会が月山湖カヌースプリント競技場（山形県）で開催された。

主将の木下駿（商業3・奈良情報商業）は、去年の悔しい結果にリベンジを果たすべく挑んだが、コロナの影響で思うように練習ができず、出場した1000mで予選7位、2000

全日本カヌー・スラローム予選敗退

力又一部

「スプリング」予選敗退

mで一次予選7位の結果に終わった。

木下は「10000mを重視した為、2000mの練習が足りず、予選で敗退してしまい悔しい思いをしたので、一つの競技だけでなく、どの

競技でも良い成績を残せるよう練習していきたい」と、今年の試合に向けて気を引き締めていた。今後の活躍に期待したい。

文／酒谷菜月美(商1・神戸星城)



「第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会」
1,000m 予選7位 木下 駿(商3・奈良情報商業)
200m 1次予選7位 木下 駿(商3・奈良情報商業)

いてそのままにしておくと体が冷めてしまうので、服を着て体が冷めてしまわないようにしています。

Q: バスケといえば、ダンクシュートというイメージがあります。ができる人はいますか？

《笠井》ダンクシュートをできる人はいます！大商大だったら大体1割、2割の人がゴールのリングを掴むことができます。

Q: バスケで人気のポジションはありますか？

《笠井》人気なのは得点を取るポジションですね。フォワード、シューティングガードが人気のポジションで

すし、引退してもバスケットをしたいなと思います。練習に参加しても、手を抜かず、しっかりやります。今でもバスケットは好きです。

Q・最後に、部活動を通して身についたことは何ですか？

【笠井】大商大のバスケット部に入って学んだことは、目標を立てるときに、目標だけを立てるのではなくて、その目標を立てるときにどのような問題点が出るのかその問題点をどう解決するかなど、先の先まで考えることを教わりました。この考え方は、今後も活かしていけると思います。

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

関西学生リーグ戦

3部リーグ



2部へ
昇格

サッカー部

昨季のリベンジを果たすべく始まった第99回関西学生サッカー3部リーグ。前期リーグでは順調にスタートダッシュを決めた。しかし、前期試合中盤、新型コロナウイルスの影響により残り試合は延期となり、後期期間に試合を開催することになったが、前期の勢いを止めることなく力戦奮闘した。

結果、前期後期ともに無敗と好成績で終え、結果20勝0敗2分で見事に優勝を果たした。それに伴い来季は2部への昇格が決まった。

主将の廣岡航太

第99回関西学生サッカー
3部リーグ
優勝 2部昇格
＜通年＞
20勝0敗2分 勝点62
・前期 11勝0敗
・後期 9勝0敗2分

戦で、大商大ボウリング部は見事に男子の部で準優勝を果たした。

リーグ第1週、近畿大学との対戦において2-1で勝利し、3位につけると、続く京都産業大学戦、同志社大学戦も勝利し、3連勝で首位に立った。その後第4週の京都大学戦は1-2で敗れ、3位に後退したものの、最終週の桃山学院大学戦は3-0で勝利を収め、2位でリーグ戦を終えた。

主将の宮本倅樹（経済4年・高知商業）は準優勝を振り返って、「僕が部に



「第60回関西中学生ボウリング春季リーグ戦」
男子部 **準優勝**

「第60回関西中学生ボウリング選手権大会」
男子3人チーム戦 (4G)
5位 宮本 倬樹(経済4・高知商業)
山崎 陸斗(商4・西野田工科)
男女混合2人チーム戦 (4G)
6位 宮本 倬樹(経済4・高知商業)
山崎 陸斗(商4・西野田工科)

所属している中で一番良い結果が出せたのは嬉しいが、あと一歩で優勝できたという悔しい思いもあって少し複雑な気持ちだったと述べた。

3・山田

男子の部

準優勝

所属している中で一番良い結果が出せたのは嬉しいが、あと一歩で優勝できたという悔しい思いもあって少し複雑な気持ちだったと述べた。

3・山田

リカン
・ボール部

復活



令和2年度は休部状態であったが、ゼロからの出発で令和3年秋頃から部員が少しずつ集まり、1年生とマネージャー含む4名で復活を成しとげた。

主将の吉川翔希（商3・明石商業）は、アメリカンフッ

色々なポジションで試合ができることが魅力と語った。

今後、アメリカンフットボール部への入部が増え、大商大アメフト部が以前の輝きを取り戻すことを期待したい。

文／酒谷菜月美(商文1・神戸星城)

バスケットボール部 元主将 笠井

今回は世界でも多くの競技者がいるバスケットボールで気になること、疑問など色々質問してみました！取材したのはバスケット部元主将笠井大空（公共4・東住吉総合）。令和3年から1部で頑張っている。

企画・文／加藤柚奈
（経済2・都城商業）

バスケットボー

Q: バスケで嫌いな反則はなんですか？

〈笠井〉ファウルを5回したら退場というルールがなければ、ずっと試合に出られるので、なければいいのにと思います。

Q: 季節によって気を付けていることはありますか？

〈笠井〉夏は暑くて、空気がこもってしまうのがよくないですね。

部元主将笠井
す！
Q. 逆に不人気なポジションにはありますか？
A. 「笠井」セクターがあまり人気はないですね。身長が低いと高さで負けてしまうから、あまり人気はないです。
Q. バスケットに対する思いを教えてください！

2季連続68回目 阪神六大学春季リーグ



4回生有終の美

令和3年度阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦、大商大準硬式野球部は2季連続68回目の優勝を果たした。主務の藤坂文也(公共3・桜宮)は「今春のリーグ戦は負けてしまうと4回生が引退となってしまう大会で、1日でも長くこのメンバーと野球がやりたいという気持ちが優勝につながったと思います」と

振り返る。第1戦大阪府立大に17・5と快勝し、第2戦大阪市立大に10・0(5回コールド)で白星をあげた。続く3戦は敗れたものの、第4戦の大阪工業大学7・1(時間切れ8回コールド)、第5戦関西大学界人間健康学部2・1と連勝した。迎えた大阪教育大学との対戦、第6戦では初回の竹田稜冬(商4・立正大学湘南)の先制タイムリーツーベースを含む5

「阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦」	
優勝<5勝1敗>	竹田 稜冬(商4・立正大学湘南)
最優秀選手	西上 瑞樹(商4・立正大学湘南)
最多勝利投手	西上 瑞樹(商4・立正大学湘南)
打点王	竹田 稜冬(商4・立正大学湘南)
ベストナイン(投手)	西上 瑞樹(商4・立正大学湘南)
ベストナイン(捕手)	松山 豪大(公共4・立正大学湘南)
ベストナイン(一塁手)	吉村 拓真(公共4・海星)
ベストナイン(遊撃手)	玉置 翔太(経営4・日本文理)
ベストナイン(外野手)	竹田 稜冬(商4・立正大学湘南)
ベストナイン(外野手)	藤坂 文也(公共3・桜宮)
「第73回関西地区大学準硬式野球選手権大会」	
1回戦敗退	
「関西地区大学準硬式野球トーナメント大会(二次トーナメント)」	
ベスト4	
「阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦」	
第4位<6勝2敗>	
打点王	大村 真平(経営2・金沢学院大学付属)
盗塁王	松室 虎雄(公共2・高取国際)
ベストナイン(外野手)	藤坂 文也(公共3・桜宮)
「清瀬杯第53回全日本大学選抜準硬式野球大会」	
1回戦敗退	

リニョーアル 硬式野球部 新グラウンド



人工芝完成!

令和4年2月17日(木)、関屋グラウンド人工芝完成セレモニーが同グラウンドにて開催されました。セレモニーでは、岡谷学長と人工芝整備事業に多大なご支援をいただいた(株)マツモト代表取締役会長 松本様の挨拶があり、続いて硬式野球部の富山監督と同部の山村OB会長より謝意が示され、テープカットが行われました。今後、同グラウンドは硬式野球部の悲願である全国制覇を狙うための専用球場として活用されます。

大商大スポーツ

発行 大阪商業大学 課外活動支援課

編集 共同精版印刷株式会社

印刷

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校



102kg級 2位

「第36回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」	
55kg級 準優勝	山口 颯太(経済3・大阪産業大学付属)
81kg級 3位	太田 頼輝(公共2・柴田)
89kg級 3位	杉本 航太郎(公共1・柴田)
89kg級 4位	和久野 友晴(公共3・安曇川)
96kg級 優勝	吉川 敦啓(公共4・須磨友が丘)大会新記録
109kg級 準優勝	田神 一真(公共4・加世田常潤)
+109kg級 準優勝	丸山 竜弥(商4・若狭東)

「第67回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」	
109kg級 6位	岩谷 梅輝(公共1・若狭東)

「第60回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」	
団体1部 5位	
55kg級 準優勝	山口 颯太(経済3・大阪産業大学付属)
73kg級 11位	谷 直哉(公共1・大阪産業大学付属)
89kg級 8位	和久野 友晴(公共3・安曇川)
89kg級 9位	杉本 航太郎(公共1・柴田)
102kg級 3位	岩谷 梅輝(公共1・若狭東)

「第20回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会」	
団体 5位	
59kg級 準優勝	弓岡 郁菜子(公共3・須磨友が丘)
64kg級 4位	佐川 未来(公共3・板野)
81kg級 3位	得平 美穂(公共2・屋久島)

「第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(Ⅱ部)」	
団体 4位	
73kg級 15位	谷 直哉(公共1・大阪産業大学付属)
73kg級 16位	西岡 佑志(商1・つるぎ)
81kg級 4位	太田 頼輝(公共2・柴田)
89kg級 7位	杉本 航太郎(公共1・柴田)
96kg級 5位	和久野 友晴(公共3・安曇川)
102kg級 2位	岩谷 梅輝(公共1・若狭東)
109kg級 3位	田神 一真(公共4・加世田常潤)
+109kg級 3位	丸山 竜弥(商4・若狭東)

「第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)」	
団体 9位	
81kg級 準優勝	得平 美穂(公共2・屋久島)
59kg級 9位	弓岡 郁菜子(公共3・須磨友が丘)

岩谷は2週間後に別の大会が控えていたため、今大会は前哨戦として優勝を目標にして臨んだ。「コロナ禍での練習では自分の弱いと思うところを重点的に取り組んだ。今年はまだ大会で1位を獲得していないため、1年生の間は1位を獲得したい」とコメントを残した。

来年度入部する後輩には「寮生活になり、ストレスも多いと思うが、ウエイトリフティング部のことでも生活面で期待したい。文/加藤柚奈(経済2・都城商業)」

も聞いてほしい」と語った。頼れる先輩のもと、今後のウエイトリフティング部に期待したい。



59kg級 2位

2021年11月5日、第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(Ⅱ)が開催された。今大会では、102kg級で岩谷梅輝(公共1・若狭東)が準優勝、109kg級で田神一真(公共4・加世田常潤)が3位、+109kg級で丸山竜弥(商4・若狭東)が3位という結果を残した。



109kg級 3位



+109kg級 3位



女子81kg級 2位

ウエイトリフティング部

全日本大学対抗選手権

男子Ⅱ部4位

女子9位

銀 銀 銅 銅

メダル4個

Interview



「成果と課題が見えたシーズンでした。高い目標を持ち、どんな状況でも諦めないでほしい」

準硬式野球部 定雅浩 監督

まず、今季の試合についてお聞かせください。と思います。春季リーグ戦で68回目の優勝を飾りました。おめでとうございます。

「監督」ありがとうございます。自分たちの時代と違い、今は練習環境が整っていない中、彼らはなんとか工夫しながら練習に取り組んでいるので、その成果が現れたのだと思います。

「春季リーグ戦で優勝し、次は全日本大会出場を、関西地区大学選手権大会に出場しました。初戦、同志社大学に1対3で敗れ、全日本大会の出場権を逃しました。」

「監督」同志社大学は関西における名門校なので、うしても倒したい相手でした。だから負けたいのは悔しかったですね。しかし、以前から力の差はあったので、太刀打ちできないかもしれない、という思いも少しありました。

ただ、試合が始まってから、彼らは私の予想を覆すような、今までと違う力を発揮してくれたんです。試合に入る前の姿勢だったり、いつもと違うプレーを見せてくれたり、彼らの本気度を感じることができました。敗戦したものの得たものは非常に多かったです。

「その後、全日本大会出場への敗者復活をかけ、関西地区予選トーナメント大会に出場しました。初

戦、桃山学院大学に5対4で勝ちましたが、近畿大学に4対6で敗れてしまいました。

「監督」同志社大学戦で手ごたえがあったので、桃山学院大学に続き近畿大学にも勝ちたかったですね。やはりまだまだ力の差があるのでしょうか。

「トーナメント大会の結果、清瀬杯(全国大会)に出場することになりました。その初戦、久留米大学に2対9で負けました。敗因はこういったところでしょうか？」

「監督」この試合の直前、コロナ感染の状況が非常に酷い時で、大会の開催は危ぶまれていました。しかし、予定通り開催することが直前に決まり、チームは全く練習できていない状態で臨むことになったんです。

しかし正直、このような状況下で出場できることがまずありがたかったので、選手たちのもののびのびプレーしていました。この試合は勝ち負け云々よりも、こうやってプレーできることに感謝しようという感じでした。

ただ一つ言えることは、関西での試合運び、いわゆる試合のスピード感と、関東の試合のスピード感というのがちょっと違っていて、関東は速いんですよ。だからその速さに巻き込まれてしまうような形になってしまっただけです。関西勢が全国で力を発揮できないのはそのせいでしょう。

これは本学だけでなく、関西の大学が取り組んでいるかなければならない課題ではないかと思っています。こういった点から言っても、対戦相手の久留米大学は出場常連校として試合運びが慣れている上手でした。

「秋季リーグ戦は4位でした。このリーグ戦は途中からトーナメント戦に切り替わりました。

「監督」そうですね。大会の途中でルールが変わり、1日2試合が急遽1試合に変更になったりしたので、投手の起用法などがうまくいかず、私の責任ではあるんですが、それが敗因につながったと思います。

「今年活躍した西上瑞樹選手や、野手の竹田稜冬選手、玉置翔太選手ら4年生が引退しました。

新しいチームの投手や野手の軸についてはいかがでしょうか? また来季の目標を教えてください。

「監督」4年生が試合に出ていた時から、下級生にも出場機会が多かったことで、結構試合慣れしていますし、下級生の主力選手も今季活躍してくれていた。なので、新チームになってもうやりやすいです。

来季の目標はもちろんリーグの優勝と全日本大会への出場です。全日本大会は清瀬杯の方ではなく、は日本戦の方で出場したいですね。

「令和2年7月に監督に就任された時、チームに求めたものはどういったことでしょうか？」

「監督」私が就任した時は、チームがバラバラの状態だったので、野球の練習よりも、まずはチームワークを固めていこうと考えました。どのようなチームメイトがいて、どのような考えを持ち、どのような練習をしているのか、まずはお互いを知ってほしいです。

最初は何をやるにも「できないこと」の言い訳を見つけた傾向にありましたが、最近ではかなり変わってきて、まずは「できること」を見つけ、そこから取り組んでいこうというのが見えてきて、練習方法でも自分たちで考えて、みんなで話し合い、こういう事をやっていこう、という流れができてきているので、それは良かったかなと思っています。

私の考えていることを理解してくれて、それをしっかり実行に移してくれているかと思っています。

「選手たちに普段かけている言葉はありますか？」

「監督」「こういう状況であっても絶対に諦めるな」ということ、「できることをまず100パーセントやってみよう」ということ、これらはいつも言っていますね。あと、現在、コロナ禍で練習もままならない状況が続きますが、それはみんな同じ条件なんだから、コロナを言い訳にしないでいこう、と言っています。

「最後に、大商大生に対してひとことだけ残すか？」

「監督」クラブをやっている、やっていないに関わらず、諦めない気持ちというのは持っていて欲しいですね。今の学生たちはすごくドライなのか、何事に対してもすぐに諦めてしまうような傾向があると思うんですよ。もっとも、希望を持って、積極的に動いて欲しいという思いが強くあります。

スポーツをやっている子でも、もっと高い目標を持ってやって欲しいなと思います。若い人だから「ガツガツ」って欲しいですね。

「ありがとうございます。来季も準硬式野球部ナインのご活躍を期待しております。」

「聞き手 篠田園子(課外活動支援課)」

我楽多

「今回初めて新聞を書きました。言葉の使い方や限られた文字数の中でどう表現するのかが難しかった。でも先輩方に助けてもらいながら完成させることができました。今後により良い記事を書き、ひとりでも書けるように努力したいと思います。」

「(須原)」

「今回初めて記事を書いてみて、大阪商業大学の卓球部の活躍を詳しく知ることができました。インタビューをしたり記事を書いたり初めてのことばかりで学ぶことが多かった。次はもっといい記事を書けるように頑張ります。」

「(片山)」

「今回新聞を作成して、まだ経験が足りないなと感じるところが多々ありました。文章の構成や言い回しなど、読者にわかりやすいと思うところをよりよい文章でなければと感じました。次に新聞を作成する時は、もっと伝わりやすい新聞になるように頑張りたいと思います。」

「(加藤)」

「今回新聞を作るにあたり先輩たちではなく自分たちがメインで記事を書いたりインタビューをしたりなど、とても難しかったと感じました。文章を考えた際、拙い文になるなど苦労はしましたが、いい経験が出来ました。次、新聞を書く際はより良いものを作れるように頑張ろうと思いました。久保」

「3年生として自分の記事以外にも気にかけることが多かった今回、今まで以上に新聞に関わる時間というの長かったです。人の記事の作成に関わっていく中で、新聞作成に活かせる発見というのもあったので、次号も良い新聞を提供できるように頑張ります。」

「(山口)」